700 シリーズ 安全上のご注意

software revision **03.01.00**対応

次の患者へのレッグスリーブを装着しての使用禁止：

■皮膚炎、静脈結紮（手術直後）、壊疽、最近行った皮膚移植■重度の動脈硬化症またはその他の虚血性血管疾患■下肢の広範な浮腫またはうっ血性心不全による肺浮腫■下肢の極度な変形■深部静脈血栓症の既往症が疑われる患者■深部静脈血栓症および肺血栓塞栓症を併発している患者

次の患者へのフットカフを装着しての使用禁止：

■心臓への灌流の増加による障害が生じる可能性がある患者■うっ血性心不全■深部静脈血栓症、静脈血栓症および肺血栓塞栓症の既往症の患者■本品を感染症及び下肢の感覚のない患者に使用する際は注意すること。

Kendall SCD™ 700シリーズ　使用方法

1. コントローラは、ベッドフックを使用して治療台に設置するか、または水平な場所に設置する。
2. スリーブの内側（コネクタが出ていない面）に脚部（足）を乗せる。
3. 面ファスナーで固定をする。スリーブを指２本の余裕があるくらいで巻きつけ、きつく締めすぎないようにする（フットの場合は踵ストラップはぴったり巻きつけ、甲部分は指１本の余裕があるくらい）。
4. 左右兼用となるので両足同じように巻きつける。
5. 接続チューブを用いて、コントローラにフットカフまたはスリーブを接続し、青い矢印がそろうように接続する（ねじれ、折れがないように）。
6. 電源コードを商用電源に接続する（内部電源を使用する場合はこの操作は不要）。
7. 電源オン／スタンバイボタンを押し、作動させる。
8. 自動システムチェック後、スリーブ種類を選択すると（脚部の場合自動で）、ポンプが作動する。

使用上の注意

1. 重要な基本的注意
(1) 下肢の一部に圧力が偏ることを防ぐため、本品が患者の下肢に正しく装着されていることを確認すること。
(2) 本品とコントローラが正しく接続されていることを確認すること。
(3) 接続チューブの折れやもつれ、ねじれがないようにすること［通気を妨げる可能性があるため］。
(4) 使用中はスリーブ装着部の皮膚を定期的に観察すること。
(5) スリーブ装着部の皮膚に、発赤、かぶれ、水疱等が認められた場合は本品を取りはずし、適切な処置を行うこと。
(6) 患者がしびれ、刺痛又は下肢の痛みの訴えた場合は、本品を取りはずすこと。
2. 不具合・有害事象
本品の使用に際し、以下のような有害事象が生じる可能性がある。異常が認められたら直ちに使用を中止すること。
(1) コンパートメント症候群
(2) 腓骨神経麻痺
(3) 尖足
(4) 接触性皮膚炎
(5) 肺血栓塞栓症

医療機器認証番号：218AABZX00088000
販売名：SCD エクスプレス

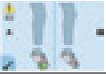
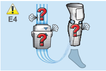
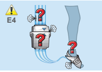
医療機器認証番号：223AABZX00029000
販売名：SCD700 シリーズ

スリーブ、フットカフは同一患者使用です。複数の患者に使用しないでください。

・ご使用の際は、必ず添付文書及び取扱説明書をお読みください。

CardinalHealth™

アラームコード及び対処方法

	1. トラブルを解決し再開		2. トラブルを解決し再起動	3. 修理が必要
エラー	スリーブのミスマッチエラー	E8：排気口アラーム	E 1 ：システム高圧アラーム	E5：バルブフィードバックアラーム
画面				
説明	コントローラが検知したスリーブとユーザーが選択した設定が一致しない	スリーブの圧力が、排気終了後も2.7kPa(20mmHg)より高い	システム圧が12.0kPa (90mmHg)(レッグスリーブ)または24.0kPa (180mmHg) (フットカフ)より高い	バルブの電気的故障
対処法	形状選択ボタンを押しコントローラーに接続されているスリーブの形状に合わせる	チューブに折れやもつれ、ねじれがないかを確認する スリーブの装着状態を確認	チューブに折れやもつれ、ねじれがないかを確認と、スリーブに障害がないか確認	点検修理が必要 弊社営業所または代理店に修理を依頼
エラー	E2：高圧（レッグスリーブ・フットカフ）		E9：温度アラーム	E6：ソフトウェアエラー
画面				
説明	レッグスリーブ圧が10サイクル連続して6.3kPa（47mmHg)、または、5サイクル連続して8.7kPa（65mmHg）より高い フットカフ圧が10サイクル連続して18.0kPa（135mmHg)、または、5サイクル連続して21.3kPa（160mmHg）より高い		コントローラのケース内温度が5℃ (41° F) 以下、あるいは55℃ (131° F) 以上	スタートアップ時及び通常作動中、定期的に診断テストを実行。ソフトウェアエラーが検出されると、このアラームが作動
対処法	レッグスリーブ・フットカフの装着状態がきつすぎないかを確認し、適切に調整 チューブが部分的に塞がっていないかも確認		高温時は、コントローラ周囲が塞がれていないか確認。低温時は、システムが室温になるまで待つ	点検修理が必要 弊社営業所または代理店に修理を依頼
エラー	E3：低圧（レッグスリーブ・フットカフ）		患者非検知アラーム（レッグスリーブ）	E7：コンプレッサアラーム
画面				
説明	レッグスリーブ圧が10サイクル連続して5.7kPa (43mmHg)より低下 フットカフ圧が10サイクル連続して16.7kPa (125mmHg)より低下		システムが患者を検知できない場合、アラーム画面が表示されて可聴アラームが作動	コンプレッサの電気的故障
対処法	スリーブ内のリーク及びチューブ接続を確認		コントローラの電源をオフにし、脚部のレッグスリーブが正しくしっかりと装着されていることを確認。その後電源を入れる	点検修理が必要。弊社営業所または代理店に修理を依頼
エラー	E4：低圧（レッグスリーブ・フットカフ）		患者非検知アラーム（フットカフ）	E13：圧トランスデューサーアラーム
画面				
説明	レッグスリーブ圧が12サイクル連続して4.7～7.3kPa（35～55mmHg）の範囲から逸脱 フットカフ圧が12サイクル連続して14.7～20.0kPa（110～150mmHg）の範囲から逸脱		システムが患者を検知できない場合、アラーム画面が表示されて可聴アラームが作動	圧迫サイクルまたはスタートアップ中、0.7kPa (5mmHg)以上の圧上昇が感知されない
対処法	レッグスリーブ・フットカフの装着が適切にフィットしているか、レッグスリーブ・フットカフに障害がないか確認		コントローラの電源をオフにし、脚部のフットカフが正しくしっかりと装着されていることを確認。その後電源を入れる	点検修理が必要。弊社営業所または代理店に修理を依頼
エラー	E12：チューブ接続不良アラーム	バッテリ残量低下アラーム		E10：バッテリアラーム
画面				
説明	スリーブが膨張状態で測定した圧力値が10サイクル連続して1.3kPa（10mmHg）より低いか、スタートアップ時にスリーブが未検知	バッテリの残り時間が15分以下。ただし、ポンプとバルブは、電力が足りている間は作動継続		コントローラの安全なバッテリ運転を保証できない
対処法	チューブまたはスリーブが外れていないか確認し、接続し直す	コントローラのプラグを AC 電源コンセントに差し込む		点検修理が必要。弊社営業所または代理店に修理を依頼

解決しないエラーや問題が続く場合は、
最寄りの弊社営業所または代理店にお
問い合わせください。

お問い合わせ先
カーディナルヘルス株式会社
Tel：0120-917-205

CardinalHealth™

©2024Cardinal Health. All Rights Reserved. CARDINAL HEALTH、Cardinal Healthロゴ及びKENDALL SCDはCardinal Healthの商標又は登録商標です。

mt-cp-qui4
2406.2000.SZX